

# 特集、もみじ谷

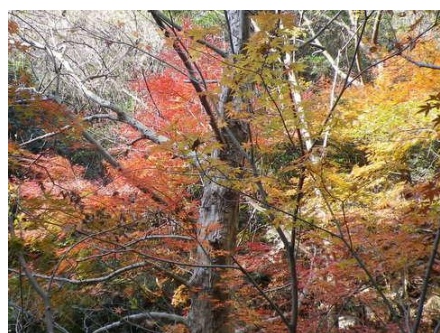
「春は桜、秋はもみじ」は、さくら友の会発足時からのスローガン。しかし、当初四年は、桜に集中。少し余裕が出てきて平成二十二年から、もみじ谷の整備をはじめた。昨秋は、初めて美しい紅葉が見られ、十二月一日紅葉狩りが催された。前夜、会員の一人から、モミジガリをした人集まれというファックスが突然流された。天候の加減でラストチャンスという判断。



正に「名勝もみじ谷」の名に恥じぬ美しさ。あまり宣伝したくないなあ。



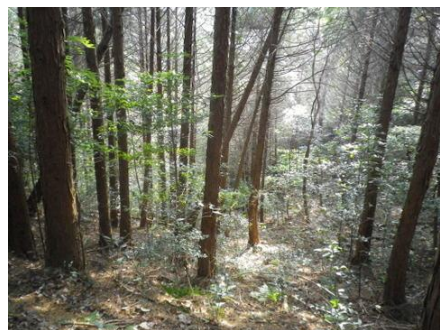
写真はコースに沿って撮った。上を見上げ、周囲を見回し、足元も。



谷を覗き、絶景ポイントに名付ける楽しみも。見晴台から帰路に。



ドウダンツツジ、木漏れ陽、冬苺は酸っぱさがワイルドだろう！



た和泉さんから、もっとゆっくり歩きましょうと、しばしば声を掛けられた。ゆっくり歩くことで、日頃あまり歩かない人や多少足腰に自信のない老婦人も、無理をせず楽しめたモミジガリであった。初めてにしては、コースといい、時間といい、大成功だったのではないだろうか。何よりもお天気と道連れが最高だった。



**全行程二時間**  
森の家を午前九時出発、十一時帰着。  
コースは森の家下関を出発点、林道深坂支線を通ってもみじ谷入り口へ。さくら友の会が草木を刈って再整備した水辺の道を通って中央広場へ。いこいの広場を経て見はらしの広場。眺望の森、探索の路を通って森の家に。  
トレッキングに慣れ